

- 1.郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1.自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1.きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1.働くことに生きかいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1.教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

平成元年 6月10日号 No.720



シリーズ29 植木村の名残りをたずねて  
麦秋(麦の収穫)から田植えまで、  
いそがしい季節が駆けぬける(関連記事は7ページ)



せせらぎ、

「川」の流れが

暮らしひに

近づいてくる

生きものひとつで、  
かけがえのない「水」

空から——

雨はやさしく、激しく

大地へとそそぎ、

やがて「川の流れ」となつて  
私たちの生活にうるおいを与える



## たくし 濯紫公園

濯紫公園は、新河岸川を身近に感じ親しんでいただこうと、喜多町に開設した市内初の親水公園。高沢橋の下流、坂下橋のたもとにあり、木製の階段が水辺までのアプローチとなっています。川を見下ろすあずま屋や流れに沿って置かれた飛び石も、空間を演出しています。

この公園は、多くの方々の熱意と協力によって作られました。土地所有者も含む地元の方々のまちづくりへの熱意。新河岸川の河川環境の美化に取り組んでいる「新河岸川を守る会」の川への愛着。そして、市の公園部分の整備と、県土木事務所による水辺整備との連携——。

川越城主柳沢吉保の家臣の別荘『濯紫園』が名前の由来というこの公園は、地元の方々の連帯の証しであるとともに、水に親しめるまちづくりの拠点となることでしょう。







# いい管理、いい環境

●吸い込み下水槽の清掃・掘りかえ・改造費用の一部を補助します。

下水道が未整備の地域にお住まいの方は、下水道が未整備されるまで家庭雑排水の処理にかかる費用の一部補助が受けられます。清掃・掘りかえ・改造など次のいずれかに該当の方は申請してください。

## 清掃について

排水施設が設置されていない地域の家庭雑排水の吸い込み下水槽の清掃。清掃後6か月以内に申請、一槽あたり一回につき四千円。

\*一槽・直径六〇センチ以上、深さが三五センチ以上のもの  
掘りかえ・改造について

現在使用中の家庭雑排水用吸い込み下水槽を掘りかえ、または改

\*要書類：△清掃＝申請書と市指定の領収書▽掘りかえ・改造＝申請書と領収書またはその写し。  
申請受付：環境整理第二課または各出張所で。なお、補助金は口座振込となりますから、金融機関の申請方法

造したとき。ただし、原則として建物と同一敷地内であること。工事完了後六か月以内に申請。（改造の場合は一万一千円）



## クリングスボール博物館

オッフェンバッハ市

カール・クリングスボールとウイルヘルム・クリングスボーグの兄弟が一八九二年に印刷用文字を鋳造する会社を創設して以来、オッフェンバッハでは文

字造形用のデザインが活発に行なわれてきました。なかでも、ルドルフ・コッホやフリッツ・クーレーテルなどの活躍が、今日のオッフェンバッハ芸術専門大学の基礎をつくったといわれています。

現在のクリングスボール博物館は、このクリングスボール兄弟の業績をたたえて一九五二年に開館しました。

現在のクリングスボール博物館は、このクリングスボール兄弟の業績をたたえて一九五二年に開館しました。

日本の中から集められたボスター、本の表紙、グラフィック印刷物など

二万三千点以上の作品が所蔵されています。こうしたことから、同

博物館として世界的にその名が知られています。日本の書道も広い意味でカリグラフィの範囲で入るといわれ、博物館を訪れる日

本人も多く、関係の深さを物語っています。

また、関心のある人々のために

文字芸術のサマースクールや特別展示会などを開催したり、「クリングスボール博物館友の会」をつくりて会員を募集したりしています。昨

年十一月九日から三十日までの間、「現在日本のお書」展が開催され、会場となつたクリングスボール博物館は多くの市民でにぎわっていました。

江戸時代中期から昭和初年まで

の約三〇〇年間、江戸と川越を結んだ新河岸川舟運。その河岸場のひとつ牛子河岸の当時の様子と成

立事情を知ることができます。

江戸時代中期から昭和初年まで

の約三〇〇年間、江戸と川越を結んだ新河岸川舟運。その河岸場のひとつ牛子河岸の当時の様子と成

立事情を知ることができます

# おしゃせバツク

川越市役所 24-8811



24-8811

## 教室

### パートタイムマーの知識

日時：6月21日(水)、午後6時  
会場：川越地方庁舎二階  
農務課 内線452

税理士・中小企業診断士 倉山郁  
一氏 経費：無料 申込：6月10日  
七日(土)までに同課へ(電話可)

大会議室 定員：八十人 講師：  
七日(土)までに同課へ(電話可)

庭木の手入れ教室  
農務課 内線463・4

婦人水泳教室 申込：6月15日(木)  
水泳・ソフトバレーボール  
保健体育課 内線316

日時：6月17日(土)、午後1時30分  
会場：川越西文化会館 定員：五十人(先着順) 経費：千五百円 申込：6月20日(火)、午前9時から経費を添えて同課へ

手づくりパン教室  
中央公民館 内線221-394

日時：6月21日(水)、午後1時30分  
会場：川越西文化会館 定員：五十人(先着順) 経費：千五百円 申込：6月20日(火)、午前9時から経費を添えて同課へ

古典歌舞講座  
鹿島紀行(鹿島語)と芭蕉  
南古谷公民館 内線35-1-5-9

日時：6月21日(水)、午後1時30分  
会場：市内在住の在勤の婦人 定員：二十人 経費：三千円 申込：6月19日(月)、午前8時30分から十時に同館へ

パンづくり教室  
勤労青少年ホーム 内線22-524-1

日時：6月21日(水)、午後1時30分  
会場：市内在住の在勤の婦人 定員：三十人(先着順) 経費：五百円 申込：6月19日(月)、午前9時から経費を添えて同館へ

パンづくり教室  
勤労青少年ホーム 内線22-524-1

て同課へ  
ソフトバレーボール教室  
日時：七月七日～九月一日、毎週  
金曜日(七月十四日は除く) 会場  
市民体育館 対象：一般男女  
定員：五十人(先着順) 費用：千五百円 申込：六月二十一日(火)、午前9時から経費を添えて同課へ

六月二十日(火)、午後6時30分から  
経費を添えて同課へへ※初  
めでホームを利用する方は利用証  
交付申請と利用者協議会費七百円  
が必要です。

三十分 会場：中央公民館 定員  
二十人 経費：三千円 申込：  
六月二十日(火)と七月八日  
午前九時三十分から  
経費を添えて同課へ(電話可)

六月二十六日～九月二十五日  
日、毎週月曜日(八月十四日、二  
十一日は休講) 午後1時30分  
三時30分 対象：一般成人 定  
員：三十人(先着順) 経費：千円  
(テキスト代は別途) 申込：六  
月十九日(月)、午前9時から経費を  
添えて同課へ(十九日のみ電話不可)

南古谷公民館 内線35-1-5-9  
ろくろを使わず成形と絵付け。  
六月二十四日(土)と七月八日  
午前九時三十分から正午 定員  
二十五人(先着順) 経費：二千五百円 申込：六月十四日(火)、午前9時から経費を添えて同課へ

午前九時三十分から経費を添えて同  
館へ(七月八日㈯は窓元(毛呂山町)へ出かけます)。

南古谷公民館 内線35  
山町)へ出かけます。

三十分 会場：中央公民館 定員  
二十人 経費：三千円 申込：  
六月十六日(金)、午前9時から  
経費を添えて同課へ(電話可)

午前九時三十分から経費を添えて同  
館へ(七月八日㈯は窓元(毛呂山町)へ出かけます)。

南古谷公民館 内線35-1-5-9  
くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：三十人(先  
着順) 経費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から経費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 経費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から経費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から経費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から経費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から経費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

くらしのマナー再発見セミナー  
日時：六月二十日(火)～七月五日(水)  
三時三十分 定員：二十五人(先  
着順) 絏費：五百円 申込：六  
月十九日(月)、午前九時から絏費を  
添えて同館へ

川越市役所 24-8811

24-8811

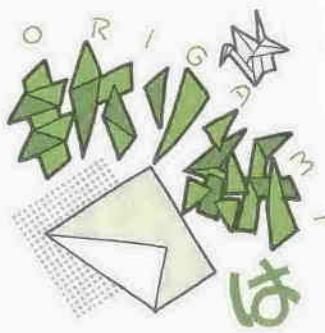
24-8811

標語募集 食文化シンポジウム  
文化の国体といわれる国際文化祭。今年は埼玉県が会場。市では、11月5日㈰に市民会館で食文化シンポジウムを開催します。これは伝統的なふるさと料理など、失われつつある日本特有の食文化を見直そうというものです。そこで標語を募集します。

テーマ…食生活と健康、食文化にちなんだもの  
応募資格…市内在住・在勤の中学生以上



五人の主婦で活動する「はつかり折り紙の会」。奥が深く、どんなものでも作れる折り紙は、会員にとって「季節感を味わう」「世代間の交流」などに役立っているとか。また、大脑の発達、指先の鍛錬、ボケ予防などにも、その効果があるようです。



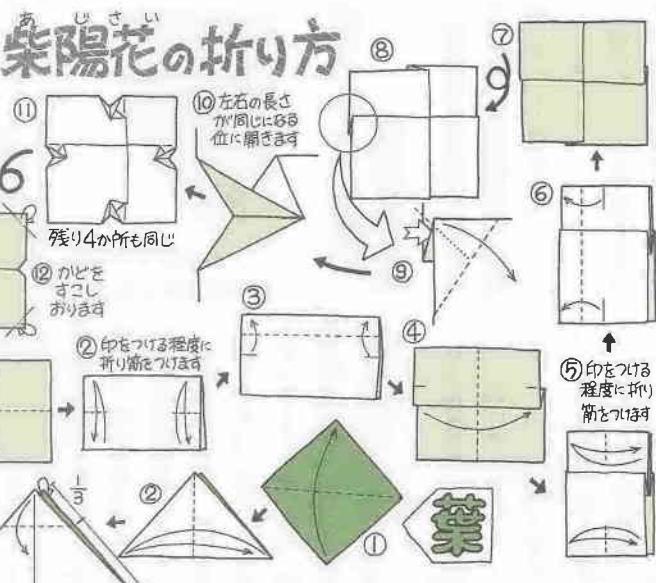
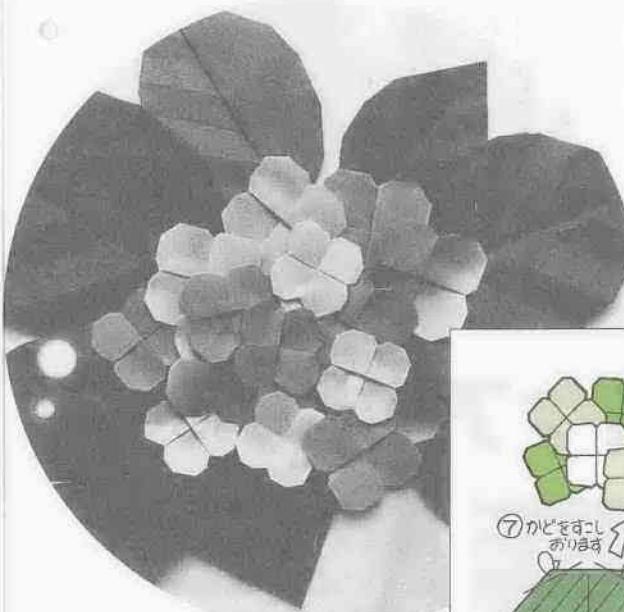
## はつかり折り紙の会

# 世代つなぐかけ橋

色とりどりの紙風船、折り鶴、紙かぶと、母さんのひざで甘え、紙飛行機の行き先をワクワクしながら見守った日——五月十八日本、子どものころの思い出に浸りながら、「はつかり折り紙の会」を脇田ビル集会室に訪ねました。

昨年十月にスタートした折り紙の会は、月一回、三十二歳から六十四歳までの主婦・五人で活動。今までにパンダ、下駄、門松、おひなさま、アヤメなどの作品を折ってきました。

「折り紙は、安価で手軽に取り



「日本折紙協会 130号」より



同った日、同会のみなさんは、紫陽花に挑戦。和気あいあいと世間話に花を咲かせながらも、所々に楊子を器用に使って花びらが折られています。

「出来上がったら、今度も部屋に飾ろうと思って。うちにいながら季節感が味わえちゃう」॥佐藤玲子さん(脇田町・57歳)。

「ちょっととしたお返しの品にも手ごろよ。この前、近所のおばあちゃんに好評だったもの」॥根津弘美さん(今福・34歳)。

ところで、平安時代に生まれ室町時代に発達したとみられる折り紙は、明治・大正には小学校の図工教材に取り上げられますが、昭和に入るとちょっと後退。しかし、最近では图形の関係を感覚的に把握できることなどから、算数(幾何学)の分野で見直されています。また、自分で確認して指先を使う折り方は、大脑の発達、指先の鍛錬、高齢者のボケ予防などにも効果があり方です。

6月まで見られます  
群生するカキツバタ

今成・岩田政雄さん(74歳)宅のつり堀り跡では、数百本のカキツバタが群生し、今年も紫色の花を咲かせています。このカキツバタは、約三十年前に植えたもの。毎年、初夏の訪れとともに咲き始め、一本の枝の先から三度花を付けるとか。そして六月末まで道行く人たちの目を楽しませてくれるそうです。

父の日に向けて、一生懸命手を動かしていました。

手芸サークル(代表・福垣史子さん)による、手作りネクタイと

パッチワーク講習会が、五月三十日(火)、福祉センターで開催。参加

した三十人のお母さんたちは、「忙しく働いてくれるお父さんに、手

作りの品で感謝の気持ちを」と、

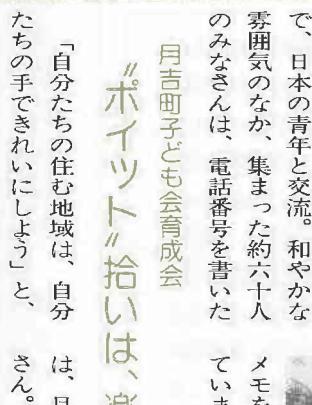
手作りの品で、お父さんありがとうございました。

川越ロータリーフラブが

救急用具を寄贈

五月三十日(火)、川越ロータリー

クラブが、「救急活動のお役に立てば」と、ストレッチャー(患者運搬用ベット)や、レスキューブランケット(救急用毛布)などを川越地区消防組合に寄贈しました。



# みんなの作文

「やつたあ。」

わたしは、とび上がるほど喜びました。きのうの雨もすっかりやみ、太陽も出てとてもいい天気になつたからです。山登りにもちょうどいい天気のようです。

学校からつるがしま駅へ行き、越生駅で電車をおりました。そこは、緑のきれいな山で囲まれていてわたしたちをびっくりさせました。そこからいろいろな花や山などを見ながら登っていくうちに、山の緑が美しく、すばしくて自然の美しさにはおどりてしましました。そんなことを考えているともう山道。歩くにつれて道はけわくなっています。岩の道を登るのはやっぱり大変です。足元に注意しながらころはないようにして歩きました。登り、下りがいくつもありましたがわたしは下りるのがとてもわかつたです。急な下り坂だと足がすべて落ちて

## 春の遠足

川越西小5年

村山和子



しまわないかと心配してしまったです。でも遠足では登りの方が大変でした。とても急な登り坂を登るのは、行きより帰りの方がもっと急だったからです。歩くだけにむちゅうになつてまわりの景色を見るよゆもなくなり、あせりました。前を見ると友達も同じようにがんばっていました。

まわりを見ても、もう登り坂はありません。山の上からは、越生の町が小さく見え、となりの山がとても美しく見えて最高のながめでした。

この遠足で、わたしは一つよいことを知りました。山登りには一步一步のペースが大事だということです。わたしは、

## 春季川越市民短歌大会入選歌

### 短歌



戦禍より赤子の吾を守り来し母に電話す昭和終る日  
砂新田 飯野喜代子

幼女誘拐警戒せよと飛ぶへりを  
笠幡 井辻喜代

春風の中の若草のようなく美子東

他のことにもベースが大事なのでやり直しきかぬ齢の吾の指まだ正確に電算機打つ  
今泉 齋藤 梅太

こだわらず米寿の朝の初鏡ほんのり明るく口紅も刷く  
伊佐沼 町田 誠

黒髪にリボンの似合ふ女学生駅の階段かけのぼり来ぬ  
小仙波町三 田沢みや子

増形 溝呂木とき  
カラフルなズック五足を並べ干し  
仲町 長谷部恒子

幸せ家族に秋の陽のさす  
的場 小川茂子

求め来し達磨を膝にエトランゼ正座くすさず護摩を受けをり  
霞ヶ関東三 名本 妙

帰る子が靴履きながら欲しきもの無きかと吾にひとこと言えり  
霞ヶ関北四 大森よし子

杭を打つ護岸工事の音やみて夕べの川に鳴ら群れをり  
北田島 山崎民雄

上新河岸 叶 玲子

## わが街川越 番組案内

一部変更になることもあります。

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日 PM 5:30~5:40  
PM 10:00~10:10

## 6.13(火) 親水ってなーに!? 灌紫公園の試み

昔、喜多町の新河岸川

沿いに、柳沢吉保の臣臣

・山東小市郎の別荘庭園

「灌紫園」がありました。

そして時は移り、庭園は

約400m<sup>2</sup>の「灌紫公園」に



生まれ変わったのです。番組では、親水公園と公園を取り巻く市民の皆さんのが取り組み方をレポートしていきます。

## 6.20(火) 観光シンポジウム

「美しい、感動するまちの創造に向けて——」

近年ますます観光客が増加している本市にとって、今後のまちづくりはどうあるべきか。

番組では、6月10日、市立図書館で開かれた「観光シンポジウム」を中心に、観光の視点から、川越のこれからについて各地の事例を含め検討していきます。

## 6.27(火) 気ままに川越小さな旅⑮ チンチン電車

市内に潜んでいる魅力を探し求めて気ままに出かけて行くシリーズ。今回は川越大宮を走っていた「チニン電車」の軌跡を尋ね、実際に電車が通った道を辿る小さな旅です。風が渡るのどかな田園、耳を澄ますと電車のきしむ音が聞こえてきそう。



# 市議会常任委員を選任

委員會 委員會 委員會 委員會 委員會 委員會 委員會  
齊木隆弘 実渢谷  
中原秀久 三郎石川良  
上精一 康博岡高橋  
久仁秀岡高橋  
仁秀岡高橋  
秀仁

市長より地方自治法第百九十六條第一項の規定により、議員のうちから二名の監査委員を選任したので、議会の同意を求めるとの提案があり、審議の結果、つぎの議員が本市監査委員として同意されました。

△ 監査委員の選任につき同意を  
求めるについて

期満了（任期は二年）に伴い同組合規約第五条第一項の規定により選挙を執行した結果、つきの十名の議員がそれぞれ当選いたしました。

川越市大字南大塚六丁一番地  
昭和二年一月三〇日生  
山根 隆治 議員  
川越市大字古市場  
昭和二三年三月八日生  
真仁田 啓議員

第三三番 天沼照雄  
（第三九番から変更）  
第三一番 沢田勝五郎  
（第一三番から変更）  
第三九番 岡島和夫  
（第三一一番から変更）

總務常任委員會（十一名）

# 監査委員二名を同意

# 議会議員十名を選挙

# 議席の一部を変更

## ▼ 議席の一部変更について

市議会常任委員の任期満了（任期は二年）に伴い、川越市議会委員会条例第五条の規定により、総務・文教・厚生・建設の各常任委員が選任されました。

市議会常任委員の任期満了（任期は二年）に伴い、川越市議会委員会条例第五条の規定により、総務・文教・厚生・建設の各常任委員が選任されました。

# 厚生當任委員會（十一名）

委員會  
佐藤地惠士 実衍平 一輔善 堀昭田 福田大河內 菊地佐 森田島和夫 大河內佐藤地惠士  
佐藤地惠士 実衍平 一輔善 堀昭田 福田大河內 菊地佐 森田島和夫 大河內佐藤地惠士  
佐藤地惠士 実衍平 一輔善 堀昭田 福田大河內 菊地佐 森田島和夫 大河內佐藤地惠士

矢 部 操 議員

川越市大字今福七六三番地	昭和五年二月二日生
大正五年一月一九日生	
伊藤 義郎 議員	
川越市連雀町一〇番地三	
大正四年八月二二日生	
昭和六年三月二八日生	
山口 登 議員	
川越市大字寺山四六七番地	
戸田 正雄 議員	
川越市大字山田一八二五番地	

委員會  
小天栗中  
山沼原村  
晉照賢光  
一雄一男代

建設常任  
委員會（十一名）

△農業委員会等に関する法律第十二条第二号の規定による選任委員の推薦について

川越市駒田本町二番地  
昭和四年五月二〇日生  
中 村 孝 治 議員

忍田宗和議員  
川越市六軒町一丁目  
一八番地  
昭和一〇年二月三日生

文教常任  
委員會（十一名）

委員 江田俊雄  
水村高次

# 農業委員会委員 五名を推

求める事について

川越市大字上寺山一四七番地  
昭和二年二月一七日生

川越市大字鯨井一八五〇番地